

日本外壁防水材工業会規格

NBKS-001:2016

日本外壁防水材工業会

制定:2016 年 6 月 22 日

外壁用塗膜防水工法に使用する仕上塗料の耐候性

1. 適用範囲

この規格は、外壁用塗膜防水工法に使用する仕上塗料の耐候性について規定する。

2. 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。引用規格は、その最新版を適用する。

JIS A 6909 建築用仕上塗材

JIS A 6021 建築用塗膜防水材

3. 品質

仕上塗料の耐候性の品質は、表 1 の規定に適合しなければならない。

表 1 外壁用塗膜防水工法に使用する仕上塗料の耐候性の品質

区 分		
耐候形 1 種	耐候形 2 種	耐候形 3 種
照射時間 2,500 時間で、塗膜にひび割れ、剥がれ及び膨れがなく、光沢保持率は 80%以上で、変色の程度がグレースケール 3 号以上であり、白亜化の等級は 1 以下とする。	照射時間 1,200 時間で、塗膜にひび割れ、剥がれ及び膨れがなく、光沢保持率は 80%以上で、変色の程度がグレースケール 3 号以上であり、白亜化の等級は 1 以下とする。	照射時間 600 時間で、塗膜にひび割れ、剥がれ及び膨れがなく、光沢保持率は 80%以上で、変色の程度がグレースケール 3 号以上であり、白亜化の等級は 1 以下とする。

4. 試験

4.1 試験室及び養生室の状態

試験室及び養生室の状態は、JIS A 6909 の 7.2 試験室及び養生室の状態による。

4.2 試験用基板

試験用基板は、JIS A 6909 の 7.3 試験用基板 f)耐アルカリ性試験 A 法、耐候性試験 A 法及び耐候性試験 B 法用基板による。

4.3 試料及び試料の調製

4.3.1 防水材

防水材は, JIS A 6021 の 6.2 試料による.

4.3.2 プライマー及び仕上塗料

プライマー及び仕上塗料は, JIS A 6909 の 7.4.2 下塗材及び上塗材による.

4.4 試験体の数

試験体の数は, JIS A 6909 の 7.5 試験体の数による.

4.5 試験体

試験体は, JIS A 6909 の 7.19 耐候性試験 B 法 図 13 試験体の形状に示すとおり, 4.2 に示す基板の表面に, 4.3 によって調製した試料を製造業者が定める使用方法によって塗り付け, 養生室に 7 日間静置したものとする. ただし, 基板の表面の半分には, 防水材を塗り付けない. なお, 防水材は, 塗膜の厚さが 1mm となるように塗り付ける.

4.6 試験の手順

試験の手順は, JIS A 6909 の 7.19.2 試験の手順による.

【解 説】

外壁用塗膜防水材の性能は, JIS A 6021(建築用塗膜防水材)の外壁用に規定されている. この中では, 防水材の引張性能, 引裂性能, 加熱伸縮性能, 劣化処理後の引張性能, 伸び時の劣化性状, たれ抵抗性能および固形分ならびにプライマーの基板に対する付着性とプライマーと防水材の付着性を評価する付着性能および耐疲労性能がそれぞれ規定されている.

外壁用塗膜防水工法に使用する仕上塗料については, 防水材の保護と化粧に対して重要な役割を担うが, その耐候性に対する規定がない.

今回, 外壁用塗膜防水工法に使用する仕上塗料の耐候性を明確化するために, 本規格を制定した.